

芸術祭の開催に向け決めていく事項

資料 4

(芸術祭を開催する上で決めるべき重要な項目は多岐に渡るが、成功の鍵は初期段階での**目的とコンセプトの明確化**、そして**運営体制の確立**にある。)

1. 企画・基本方針に関する事項（最も基本的で重要な事項）

項目	内 容	八尾市の場合
目的・趣旨	なぜ芸術祭を開催するのか (例：地域活性化、芸術文化の振興、国際交流など)	
テーマ・コンセプト	芸術祭全体のコンセプトや方向性を示すテーマを設定 (例：「海の復権」、「ソーシャルインパクト」など) テーマの傾向としては、社会課題とアートを結び付けるもの、地域性の掘り下げ、未来への展望などが挙げられるが、開催場所により、多岐に渡っている。	
ターゲット	誰に向けて開催するのかを明確に絞り込む (例：一般市民、国内外の観光客、特定の芸術分野のファンなど)	
芸術の種類	舞台芸術、現代アート、メディア芸術など、どの分野を中心に扱うかを決定	
開催規模・達成したい目標	国内外からの参加規模（国際芸術祭か地域密着型か） 達成したい具体的な目標（KPI）（例：来場者数、経済効果）	
イベント名	芸術祭の顔となる正式名称を決定	

2. 運営体制・予算に関する事項（企画を実現するための基盤作り）

項目	内 容	八尾市の場合
実施主体・運営体制	誰が主催し、誰が運営の責任を負うのか（実行委員会形式など）を明確化 意思決定プロセスもここで決定	
予算と資金調達	全体の予算規模を決定し、行政からの補助金（負担金）、協賛金、チケット収入などの財源を確保	
芸術監督・キュレーターの選任	展示やプログラムの芸術的な側面を統括する人物を決定	
役割分担と責任の所在	事務局内での具体的な業務分担（広報、会場設営、経理など）を明確化	
ボランティアスタッフの募集・研修	多くのサポートスタッフ（運営サポート、案内所機能など）の協力が不可欠	

3. 開催計画に関する事項（具体的な実行スケジュールに関わる事項）

項目	内 容	八尾市の場合
開催時期・期間	いつ、どれくらいの期間、開催するかを決定 (例：数日間、数ヶ月間、春秋のシーズン制など)	
開催場所	メイン会場や連携会場となる施設、公園、町工場、神社仏閣などを決定 来場者のアクセス方法も考慮	
プログラム内容	具体的な展示、公演、ワークショップなどのコンテンツを企画 出演者や作家を選定	
参加アーティスト・作品選定	公募の有無や選考基準を決定、参加アーティストを選定 作品プランや展示内容の方向性を決定	
広報戦略	どのようにイベントを告知し、集客するかを計画 SNSの活用なども含む	